

## 2 2 アジア太平洋地域の持続可能な開発のための教育に関する国際研究集会に向けた 企画調査

研究代表者 永田 佳之（国際研究・協力部 総括研究官）

### ① 研究の趣旨，ねらい

「持続可能な開発」に関する世界首脳会議（ヨハネスブルグ・サミット）において日本政府が提案した「持続可能な開発のための教育の10年（DESD）」が2002年の国連総会で採択され、2005年から2014年までの10年間で実施されることになった。こうした国際的潮流の中で、日本でも「持続可能な開発のための教育（ESD）」に向けた努力が、殊に教育分野で期待されており、ESD元年である2005年を皮切りに、国際機関やNPO、学校等の多様な団体・組織によってESDを銘打った様々なイベントが開催されている。

当研究所でも平成17年3月に文部科学省との共催で国際シンポジウム「『持続可能な開発』と21世紀の教育」を開催した。ESDが国連公認の旗艦プログラムの一つとして位置づけられた現在、関連企画は官民双方で今後も継続的に実施されている。本企画調査の目的は、こうした企画に向けて研究面での準備を行うことにあった。

### ② 研究成果の概要

- 「持続可能な開発」に関する概念の整理
- 持続可能性の鍵概念である「つながり」を示す国内外の事例の収集と分析
- UNESCOで提示されているESDの視点に加え、時間軸の重要性を確認
- 「つながり」には社会と教育を分割せず包括的に捉える視座が含まれることを確認

### ③ 中期目標との関連性

- DESDの中間年に向けた概念整理及び事例（グッドプラクティス）の提示

### ④ 本研究に盛り込まれている主なデータ項目

- ESD 枠組み（社会、経済、統治、環境、時間）
- 国内事例：福井県（地域づくり）、栃木県（経済）、岩手県（高等教育）、神奈川県（学びの場）、熊本県（環境と人権）
- 海外事例：中国（経済と環境）、ロシア（授業実践）、トルコ（震災復興）、インド（私立学校）

⑤今後の研究予定

○研究代表者の転出により未定。

⑥キーワード

(1) 持続可能な開発のための教育 (ESD) (2) 教育と社会

(3) 開発と教育

⑦本研究の研究報告書 (多数ある場合は, 【他〇件と記載】)

○アジア太平洋地域の持続可能な開発のための教育に関する国際研究集会に向けた企画調査 (平成 18 年度科学研究費補助金 (基盤研究 C)) 報告書

● <http://groups.google.com/group/Education4SD>

⑧関連する先行研究や参考となる研究等

○宇野重昭・鶴見和子 編 (1994) 『内発的発展と外向型発展－現代中国における交錯－』東京大学出版会

○開発教育協会 (2003) 『持続可能な開発のための学び別冊 [開発教育]』

○川田昇 (1991) 『ぶどう畑の笑顔：こころみの実践が自閉症の子供をかえた』大揚社.

○J・クリシュナムルティ (1991) 『学びと英知の始まり』 (大野純一訳) 春秋社.

○国立教育政策研究所 (2005) 『「持続可能な開発」と 21 世紀の教育 未来の子ども達のために、今、私たちにできること－教育のパラダイム転換－』 (教育改革国際シンポジウム報告書)

○国連開発計画 (UNDP) (2004) 『人間開発報告書 2004－この多様な世界で文化の自由を－』国際協力出版会.

○鶴見和子・川田侃 (1989) 『内発的発展論』東京大学出版会.

○H・E・デイリー (2005) 『持続可能な発展の経済学』 (新田功・蔵本忍・大森正之 共訳) みすず書房.

○西野博之 (2006) 『居場所のちから』教育史料出版会.

○日本ホリスティック教育協会 編著 (2006) 『持続可能な教育社会をつくる：環境・開発・スピリチュアリティ』 (ホリスティック教育ライブラリー 6) せせらぎ出版.

○D・H・メドウズ他 (1972) 『ローマ・クラブ「人類の危機」レポート成長の限界』 (大来佐武郎 監訳) ダイヤモンド社.

○D・H・メドウズ他 (1992) 『限界を超えて 生きるための選択』

- (茅陽一 監訳) ダイヤモンド社.
- UNESCO (2005) 『ユネスコ 持続可能な未来のための学習』 (阿部治・野田研一・鳥飼玖美子 監訳) 立教大学出版会.
  - ユネスコ・アジア太平洋地域教育局 編 (2006) 『アジア太平洋地域における「持続可能な開発のための教育」』 (国立教育政策研究所 国際研究・協力部 翻訳) 国立教育政策研究所. (The UNESCO Asia and Pacific Regional Bureau for Education (2005). Education for Sustainable Development in the Asia-Pacific Region.)
  - 吉田敦彦 (1999) 『ホリスティック教育論：日本の動向と思想の地平』 日本評論社.
  - E・ラズロ (2002) 『マクロシフト：「見えざる手」の終わりと、サステナブル・ワールドのはじまり』 文春ネスコ.
  - OFSTED (2003). Taking the first Step forward... towards an education for sustainable development: Good practice in primary and secondary schools.
  - Unesco (2002). Teaching and Learning for a Sustainable Future.
  - UNESCO (2005). United Nations Decade of Education for Sustainable Development (2005-2014) International Implementation Scheme.